

2026 年 10 月 28 日
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
住友化学株式会社

ヴェオリアと住友化学、環境省「令和 8 年度プラスチックの資源循環等に係るモデル事業」への参画が決定

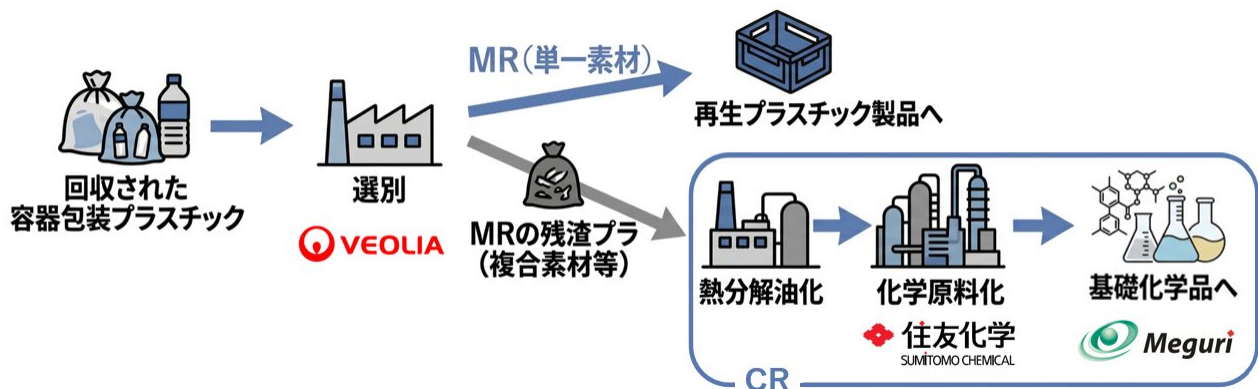
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社（以下「ヴェオリア」）と住友化学株式会社（以下「住友化学」）は、このたび、環境省「令和 8 年度プラスチックの資源循環等に係るモデル事業」（以下「本モデル事業」）へ参画が決定しました。両社は、マテリアルリサイクル（以下「MR」）とケミカルリサイクル（以下「CR」）を組み合わせ、プラスチック製容器包装の再商品化における資源利用率向上と化学品への転換率向上を目指します。

従来、容器包装リサイクル法に基づいて分別収集されたプラスチック製容器包装（以下「容リプラ」）は、再商品化事業者が引きとった後、MR もしくは CR のいずれか一方の手法で再商品化されていました。令和 9 年度より、容リプラの再商品化の更なる品質や収率の向上のため、容器包装リサイクルのジョイントグループ登録制度（以下「本制度」）によって、MR 事業者と CR 事業者がジョイントグループを形成し、異なる再商品化手法を組合せることが可能となり、本モデル事業は、本制度の活用促進を目的としています。

容リプラには、材質の違い、汚れ、複合素材などを理由として有効利用が難しいものもあり、従来の MR では容リプラの再商品化は約 5 割に留まっていた※。本モデル事業により、MR 工程で発生する残渣由来の廃プラスチックを CR で再商品化することによって、容リプラの資源利用率を約 8 割に向上させるとともに、これまで主に熱回収用途に活用されていた MR 工程で発生する残渣由来の廃プラスチックを、CR によって化石由来のバージン品同等品質の化学品へ再生し、化学品原料としての利用へと用途を広げることが期待されています。

本モデル事業において、ヴェオリアは、廃棄物管理・選別・再資源化の知見を生かし、MR に適した資源の有効利用を進めるとともに、MR が難しいプラスチックを CR へつなぐ選別・供給スキームを検討し、資源利用率向上と再生資源の高付加価値化を目指します。また、住友化学は、ヴェオリアが CR 用に選別・供給するプラスチック由来の熱分解油を原料として、開発中の独自触媒を用いた、エチレンやプロピレンなどの基礎化学品へ高効率で転換する CR 技術の活用に取り組みます。

ヴェオリアと住友化学は、本モデル事業における検討・検証の成果を生かし、自治体、再商品化事業者、製品メーカーおよび需要家をはじめとする多様な関係者との連携を深めながら、資源循環スキームおよび CR 技術の社会実装につなげ、循環型社会の実現に貢献してまいります。



ヴェオリア・ジェネッツについて

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社は、環境サービスの世界的リーディングカンパニー、ヴェオリアのグループ会社です。1997年に日本で設立され、日本国内において水、廃棄物、エネルギーの3事業を複合的に展開しています。グローバルおよび国内の双方で培ったノウハウを生かし、地域社会に根差したサービスを全国各地で提供しています。

廃棄物分野では、容器包装プラスチックを含むプラスチックの回収、選別、再資源化に取り組み、サーキュラーエコノミーへの移行を支援しています。

住友化学について

住友化学は、アグロ&ライフソリューション、ICT&モビリティソリューション、アドバンストメディカルソリューション、エッセンシャル&グリーンマテリアルズの各事業を通じて、幅広い産業と人々の暮らしを支える総合化学メーカーです。資源循環およびGHG排出量削減を重要な課題の一つとして位置付け、ケミカルリサイクルをはじめとした技術・製品・事業の開発および社会実装を推進しています。

※出典：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会「調査レポート『プラスチック種類別の有効利用率の推定』（令和6年度）」

以上

問い合わせ先：

ヴェオリア・ジャパン合同会社

コミュニケーション本部 jp.com.vwj.comm.all.groups@veolia.com

住友化学株式会社

コーポレートコミュニケーション部 <https://www.sumitomo-chem.co.jp/contact/public/>